

男声合唱団コール・グランツ創立35 周年記念コンサート



実施者: 男声合唱団コール・グランツ

社会や地域の課題

地域において直に音楽文化芸術に触れる機会が減っている中、特にコロナ感染症によりコンサートなどへの参加の機会が極端に制限されたため、文化的事業への参加意欲が失われつつある。また高齢化により地域の歴史・文化の伝承が難しくなり、掘り起こしの機会が必要と思われる。

取組概要及び成果

男声合唱という音楽では稀少なジャンルを、ある程度の完成度をもってご提供し、良質な音楽による感動、潤いを共有し、直に音楽の良さに触れることの喜びを体感していただけたように思う。また、演奏曲においては多様な観客を意識し、お馴染みの1970年代のフォークソングをはじめ、男声合唱曲の有名作品をご紹介します男声合唱の魅力をお伝え出来たと思われる。特に地域の著名な作曲家である下總皖一と郷土の詩人高橋郁による地域の風景を歌った3曲に、盆踊りで親しまれている「栗橋音頭」を加えメドレーとした「坂東栗橋感懐」という委嘱作品を発表出来たことは、地域の埋もれがちな文化の掘り起こしに大いに貢献できた。また入場者に無料配布したプログラムは、単に団や演奏曲の紹介に留まらず、「坂東栗橋感懐」の背景である旧栗橋の歴史を再認識していただける内容を盛り込み、資料としての価値あるものになっている。